

そうや サイクルルート マップ



サイクリングのお役立ち情報

① サイクルルート北海道 <https://cycle-hokkaido.jp>

サイクルルート北海道は、試行ルートや高低差情報、トイレや休憩施設などのスポット情報を提供するとともに、サイクリストの満足度などを評価し、走行環境や受入環境の改善にフィードバック可能なコミュニケーションサイトです。



② 北海道地区道路情報 <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp>

北海道の国道、道道、及び北海道開発局が管理する高速道路において、現在実施している異常気象、災害、工事による通行止情報や各地の峠のライブカメラによる映像を提供しています。



③ 北の道の駅 <http://www.hokkaido-michinoeki.jp>

北海道の道の駅についての情報が網羅されているサイト。それぞれの道の駅の特色や営業時間、イベント情報など旅に役立つ情報が満載です。



④ きた北海道観光 <https://www.northern-hokkaido.com/ja/>

きた北海道の観光情報サイト。観光スポットやイベント情報など動画や写真をたくさん用いて紹介しています。また、地域ごとの季節別の気候やそれにあった服装の紹介などサイクリングに役立つ情報も。



【発行年月】令和元年 7月

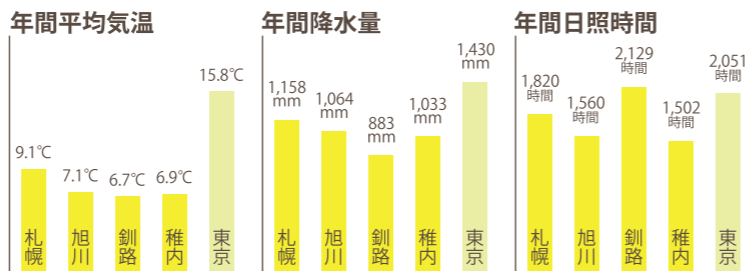
【発行・お問い合わせ先】

北海道開発局 稚内開発建設部 道路計画課
稚内市末広5丁目6番1号
0162-33-1146

宗谷地域の気候



管内の気候は、夏でも最高気温は低く、25℃を超える日はほとんどなく、沿岸部では年間を通じて風が強いのが特徴です。内陸部では、夏季の気温が30℃前後まで上昇することがありますが、朝夕は寒暖の差が大きい地域です。



宗谷地域を走る際の注意事項



- ① 夏でも暖かい格好の準備を
夏でも朝晩や標高の高い峠を中心に、気温が下がる場合があります。峠の下り坂など、少ない運動量で風を切ると体温が低下していきます。
- ② 補給ポイントの確認を
都市圏を離れると、数十kmに渡って、水分や食料品を補給できない場合があります。余裕を持った装備を心がけましょう。
- ③ 交通量の多い国道に注意
国道を中心に交通量が多く、幹線道路は大型車両も多いため、注意が必要です。また、北海道特有の幅員が広く長い直線道路では、自動車のスピードも早くなりがちです。
- ④ 野生動物の遭遇に注意
エゾリスやエゾシカなど北海道ならではの可愛い野生動物もたくさんいますが、獰猛なヒグマやエキノコックスを保有しているキタキツネなどには注意が必要です。

宗谷地域のまちの紹介



宗谷地域は、北海道の北に位置し、南北にまたがる低山性の北見山地が境界となっており、東部は平坦な臨海地であり、西部は広大なサロベツ湿原を経て日本海に接しています。また、利尻島は中央に成層火山の利尻山があり、礼文島は南北に細長い丘陵地帯となっています。

<p>① 稚内市</p> <p>稚内市は西は日本海、北は宗谷湾・宗谷海峡、東はオホーツク海に面しています。2万年前の水河期に形成された「宗谷丘陵」には、白い道と呼ばれるホタテの貝殻を敷き詰めた美しい道が伸びています。</p>	<p>② 猿払村</p> <p>漁業と酪農が盛んで、特にホタテの水揚げ地として知られ、漁獲量は日本一を誇ります。浜頓別町とながる、どこまでも続く直線道路「エサスカ線」はサイクリストの憧れ。</p>
<p>③ 浜頓別町</p> <p>日本最北のラムサール条約指定湿地であるクッチャロ湖を有する。春に最盛期を迎える5千羽近くの白鳥の飛来は圧巻。もちろん浜頓別町からの「エサスカ線」も爽快そのものです。</p>	<p>④ 中頓別町</p> <p>宗谷地方の南部に位置し、唯一海に面さない町。山間部に位置し、四方を山に囲まれた地形で町面積の8割が森林である中頓別町の観光資源は、なんとと言っても恵まれた自然の数々。</p>

宗谷地域のサイクリングイベント



<p>サロベツ 100 マイルロードレース 7月下旬開催 見渡す限りの牧草地帯の中で行われる日本最北の自転車レース。起伏に富んだ一周 20km のコースを周回。</p>	<p>チャリ・デ・秘境駅 8月上旬開催 秘境駅周辺の散策を折り畳み自転車の活用で、地域の魅力を最大限に満喫するツアー。</p>
<p>利尻島一周ふれあいサイクリング 8月下旬開催 利尻島の潮風や大自然を觀賞しながら、自分のペースで利尻島1周のサイクリングを楽しむ大会。</p>	<p>TEPPEN-RIDE 9月下旬開催 旭川から日本のおっぺん宗谷岬までの315kmを3日間かけて走破するここでしかできないツアー。</p>

自転車輸送・受入環境の情報



- ① 輪行（航空会社）
多くの航空会社では、重さ20kg、3辺の合計が203cm以内の大きさが預け入れ手荷物として運ぶことができます。
- ② 輪行（JR）
携帯できる荷物にまとめ、3辺の合計が250cm以内、重さが30kg以内のものを2個まで無料で列車内に持ち込むことができます。
- ③ 自転車輸送サービス（バス・フェリー）
稚内-離島間フェリーでは、自転車をそのまま輸送できるほか、利尻島では島内での自転車輸送サービスを行っています。
▶ハートランドフェリー：0162-23-8010
▶宗谷バス（利尻営業所）：0163-84-2550

<p>⑤ 枝幸町</p> <p>枝幸町は「北オホーツク道立自然公園」の一部に指定されています。見渡す限り畳を敷き詰めたような不思議な景色は、溶岩などが急に冷えて固まったときに起きる「柱状節理」という現象から生まれました。</p>	<p>⑥ 豊富町</p> <p>豊富町は、酪農が盛んで、乳牛飼育頭数は人口の3倍の1万3千頭もいます。また、観光の中心は日本最北の温泉郷「豊富温泉」で、皮膚病に良いとされ、湯治客や多くの観光客が訪れています。</p>
<p>⑦ 礼文町</p> <p>風光明媚な「花の浮島」として知られ、日本で最も北にある島の雄大な自然が育んだ花の種類は300種類にもおよびます。7つのフットパスが島を縦断しており夏には多くの観光客で賑わいます。</p>	<p>⑧ 利尻町</p> <p>秀峰利尻富士が島そのものを形成している。「夢の浮島」として知られ、約60km 走れば島一周が可能。利尻昆布やウニなど海の幸も豊富。愛称は「利尻・彩くるロード」。</p>
<p>⑨ 利尻富士町</p> <p>利尻山や甘露泉水、自然休養林など3つ日本百選の自然資源を有する利尻富士町は、豊かな自然に恵まれた観光と漁業の町で、近年は栽培漁業に力を入れています。</p>	<p>⑩ 幌延町</p> <p>幌延町の基幹産業は酪農であり、およそ10,000頭の乳牛が町内で飼育されています。また、オロロンラインに位置するオトルンイ風力発電所には、28基の風車が並ぶ壮観な風景が印象的。</p>

北海道のサイクルツーリズム推進



① 背景と検討の経緯

<p>北海道総合開発計画 北海道の観光資源を活かしながら「世界水準の観光地」を目指し、サイクルツーリズム等の振興等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進する産学官連携による「プラットフォーム」を形成することとされている。</p>	<p>自転車活用推進法 自転車活用を総合的・計画的に推進数基本理念も、基本方針として「観光来訪の促進、地域活性化の支援」が記載されている。</p>
---	--

北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会の設立

モデルルートの設定

<p>基幹ルート 市町村を跨ぐような骨格となるサイクルルート（5ルート設定）</p>	<p>地域ルート 基幹ルート周辺の地域の短距離のサイクルルート</p>
---	--

試行により検証を行っている内容

<ul style="list-style-type: none"> ・休憩施設の充実 ・移動のサポート ・イベント、モニターツアーの実施 ・ルートの案内や周知 	<p>コミュニケーションサイトの開設</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ルート案内看板の設置 ・路面標示(矢羽根)の試行 	<p>持続的取組を進めるための体制・役割分担</p>

試行結果に基づいて
世界水準のサイクリング環境構築に向けた取組開始

きた北海道ルートの紹介



和寒町を起点として道北地域を縦断し、日本最北端の稚内市・宗谷岬までを結んだルートと、利尻島1周のルートの全長350kmのサイクリングルート。

基幹ルート1
北海道遺産の天塩川に併走し、自然を肌と感じながら信号がほとんどなく、どこまでも続くかのようなまっすぐな道を堪能できるルート

基幹ルート2
フェリーターミナル野塚展望台を起点として雄大な利尻山や沼、海などの大自然を常に意識しながら利尻島を左回りに周遊するルート

案内看板シール
道路標識、照明柱、スノーポール等の支柱に進行方向を伝える案内看板シールを設置

路面表示
橋梁やトンネル等の路肩が狭くなる箇所の手前に路面表示を設置

0 5 10 20 30km